My Systems

ユーザーマニュアル

目次

バージョン情報 3
最新情報 4
使用に当たって 5
My Axisアカウントを登録する 5
..... 5
ファイアウォールの設定 5
ユーザーを管理する 8
ユーザーを組織に追加する 8
ユーザーロールについて 9
ユーザー権限の昇格 9
ユーザーの削除 10
アクセス管理 12
アクセスの付与 12
デバイスの管理 13
フォルダーを作成する 13
フォルダーの削除 14
AXIS OSの管理 15
装置ソフトウェアのアップグレード 15
アップグレードのスケジュール 16
AXIS OSアップグレードの表示 17
デバイスのインターフェースにリモートでアクセスする 17
デバイスの移動 18
デバイスの登録 19
装置を削除する 21
サーバーのアップグレード 22
ライセンスを管理 24
ライセンスについて 24
使用に当たって 24
ライセンスの購入 24
オフラインシステムをライセンスする 24
将来使用するためのライセンスの保存 25
アクティビティの履歴を確認する 25
ライセンスの移転 25
サブスクリプションの開始 25
ライセンスキーの引き換え 26
サブスクリプションライセンスを割り当てる 26
サブスクリプションを更新する 26
サブスクリプション中に装置を追加する 27
サブスクリプションの終了 27
ハードウェアに紐付けされたライセンスを登録する 27
拡張ライセンスキーを引き換える 27
拡張ライセンスを割り当てる 28
アーカイブシステム 28
組織を管理する 29
組織について 29
組織名を変更する 29
所有者 30
組織をアーカイブする 30

バージョン情報

My Systemsは、Axis のクラウドサービスや拡張機能にアクセスできる場所です。ここで、装置とアプリケーションの監視、管理、メンテナンスを行います。サブスクリプションに応じて、小規模なビジネスから世界中の複数のサイトまで、あらゆるものを管理できます。これを効率的かつ安全に行うために、企業がセキュリティインフラストラクチャーの運用に必要なすべてのものを1か所に集める手段として、Axisでは組織を使用します。

My Systemsの構造では、複数の組織を管理することもできます。これにより、インテグレーターや大企業は、独立して事業を行うクライアントや子会社を分離しながらも、ライセンスされたソフトウェアソリューションや装置を維持することができます。

最新情報

過去の更新履歴とともに、最近の改善点や変更点をすべて表示するには、*What's new in My Systems (My Systemの最新情報)* に移動します。

使用に当たって

My Axisアカウントを登録する

1. *axis.com/my-axis/login*でMy Axisアカウントを登録します。
2. 多要素認証 (MFA) の [Authenticator App (TOTP) (認証アプリ(TOTP)] または [Email (電子メール)] のいずれかを選択し、画面の指示に従います。MFAは、ユーザーの身元を確認するために別の確認レイヤーを追加するセキュリティシステムです。

組織を作成する:

1. My Axisアカウントを使用して*My Systems*にサインインします。
2. セットアップアシスタントの指示に従います。

追加の組織を作成する:

1. 組織名のドロップダウンメニューに移動します。
2. [+ Create new organization (+新しい組織の作成)] を選択します
3. セットアップアシスタントの指示に従います。

ファイアウォールの設定

Axis Cloud Connectのファイアウォールルール

Axis Cloud Connect (ACC) には、ドメインベースのファイアウォールルールをお勧めします。

以下へのアウトバウンド通信を許可します。

送信先:	ポート
*.connect.axis.com	443, 8443
*-st.axis.com	443

Webリアルタイム通信 (WebRTC) やワンクリックでのクラウド接続を使用する場合は、以下のセクションに記載されているルールも適用してください。デバイスは設定済みのDNSおよび時刻サービスにアクセスする必要があります。

ワンクリックによるクラウド接続

OAKを取得するには、TCP 443でのoakcgi.o3c.axis.comへの接続を許可します。IPアドレスが変わるため、ドメインベースのルールを使用してください。

ネットワークタイムプロトコル (NTP) サーバーを指定していない場合、デバイスはpool.ntp.orgを使用します。このドメインへのアウトバウンドUDP 123を許可します。

この表に記載されているオンボーディングサーバーおよびディスパッチャーへのTCP 443の接続を許可します。

ドメイン	IPアドレス
onboardme.prod.oneclick.connect.axis.com	79.125.43.155/32, 54.155.7.192/32, 52.48.110.11/32
dispatchus1-st.axis.com	18.215.224.182/32
dispatchse1-st.axis.com	52.51.189.141/32
dispatchse2-st.axis.com	18.200.145.9/32
dispatchjp1-st.axis.com	3.24.72.55/32
dispatcher-st.axis.com	54.73.167.187/32

dispatchse1-st-int.axis.com	195.60.68.120/32
dispatchse2-st-int.axis.com	195.60.68.121/32

WebRTC接続

WebRTCクライアント、デバイス、またはホストをホストしている各ネットワークに、これらのアウトバウンドルールを適用します。Axisシグナリング、STUN、およびTURNサービスに対応します。

ドメイン	ポート	目的
signaling.prod.webrtc.connect.axis.com	TCP 443	セッション設定用のSecure WebSocket
signaling.webrtc.connect.axis.com	TCP 443	セッション設定用のSecure WebSocket
*.turn.prod.webrtc.connect.axis.com	TCP 443	中継されるビデオおよびデータ用のTURN over TLS (TURNS)
*.turn.prod.webrtc.connect.axis.com	UDP 443	TURN over DTLS
*.turn.prod.webrtc.connect.axis.com	TCPおよびUDP 3478	暗号化されていないSTUNおよびTURN
*.turn.prod.webrtc.connect.axis.com	TCPおよびUDP 5349	代替TURN over TLS (TCP) またはDTLS (UDP)
*.turn.prod.webrtc.connect.axis.com	UDP 49152–65535	TURNメディアリレーポート

重要:WebRTC接続にはUDP 443が必要です。

以下の点に留意してください。

- ダイレクトピアツーピアトラフィックは、Axisサービスではなく、相手側のピア独自のアドレスとポートに移動します。この許可リストには含まれていません。
- これらのアウトバウンド接続のトラフィックを許可します。インターネットへのポートフォワーディングは必要ありません。
- シグナリングアドレスおよびTURNアドレスは変更される可能性があるため、固定IPアドレスの代わりにドメインベースのルールを使用してください。
- 各セッションでは一時的なTURNサーバー名が使用されるため、***.turn.prod.webrtc.connect.axis.com**ワイルドカード全体を許可してください。
- UDPルールは、ファイアウォールがUDPトラフィックをDNS名と照合できる場合にのみ、ドメインルールとして機能します。
- TURN over TLSまたはDTLSは、HTTPSではありません。ポート443でのWebトラフィックのみを許可するファイアウォールまたはプロキシーでも、それをブロックする可能性があります。これを避けるため、次のセクションに記載にしたがって、これらの送信先をパケットインスペクションから除外してください。

パケットインスペクション

ACCはパケットインスペクションをサポートしていません。ファイアウォールまたはプロキシーで、TLS/SSLインスペクションを含め、パケットインスペクションからACC送信先を除外してください。これは、ドメインベースのルールとIPベースのルールの両方に適用されます。

固定IPアドレス

このセクションでは、固定アドレスにIPベースのルールを使用できます。現行の共有ACCサービスのアドレスに対して、TCP 443および8443を許可します。

注:これはACCの完全な許可リストではありません。その他のACC接続は、変更される可能性のあるIPアドレスを使用するため、ドメインベースのルールが必要です。以下の固定IPアドレスのみを許可した場合、一部のACC機能が利用できなくなります。

共有ACCサービス

これらのアドレスはどちらも完全に機能します。2027年1月までは、旧アドレスが必要です。

サービス	IPアドレス
共有ACCサービス、現行	75.2.119.140/32, 99.83.133.42/32
共有ACCサービス、旧	40.127.155.231/32, 52.224.128.152/32

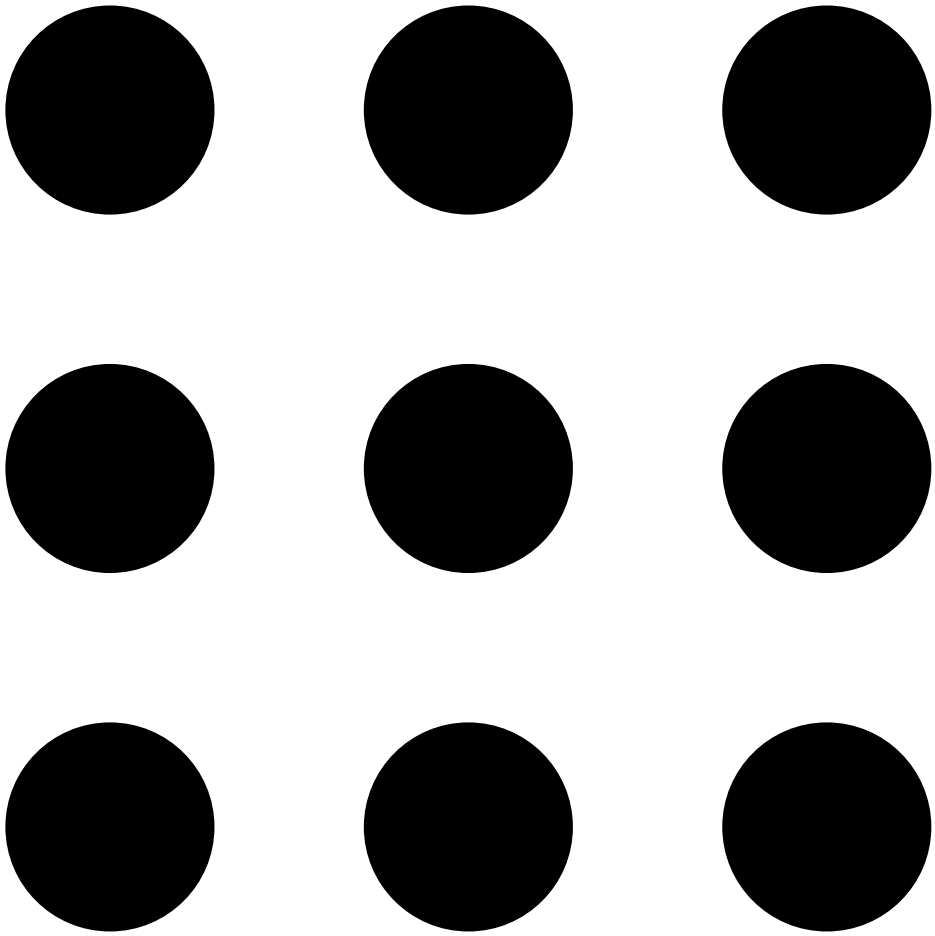
現行の共有ACCアドレスはエニーキャスト方式であるため、同じ2つのアドレスが世界中で利用できます。サイトの所在地にかかわらず、両方を許可してください。個別のリージョンアドレスはありません。インターネットルーティングがネットワークエントリーポイントを選択し、そこからトラフィックが設定されたバックエンドリージョンに転送されます。

これらのアドレスを国やリージョンでフィルタリングしないでください。IPジオロケーションは、バックエンドのロケーションを表示しません。

ユーザーを管理する

ユーザーを組織に追加する

1. ユーザー設定を行う組織を選択します。
2. アプリセレクター



に移動します。

3. [Users (ユーザー)] を選択します。
4. [Invite users (ユーザーの招待)] をクリックします。
5. 設定アシスタントの画面に表示される手順に従います。
   - [Operator (オペレーター)] または [Viewer (閲覧者)] を選択した場合は、ユーザーがアクセスできるフォルダーを選択します。[Admin (管理者)] の役割は、組織内のすべてのフォルダーにアクセスできます。

注

ユーザーは、My Systemsへのサインイン時に使用できる招待状電子メールを受け取ります。My Axisアカウントを持ってないユーザーは、その電子メールを使用して組織にアクセスする必要があります。招待は、承認が保留されている間でも取り消すことができます。

ユーザーロールについて

ユーザーロールは、ユーザーが組織内のシステムでアクセスできる範囲を定義します。使用できる機能は、ユーザーロールにより異なります。利用可能なユーザーロールは以下の通りです:

管理者

管理者はシステム全体にアクセスできます。制御権には、ユーザーや装置、ライセンス、ビデオ、その他のコンテンツの管理権限が含まれます。

また、AXIS Camera Station Proを使用して装置をオンボードすることもできます。管理者は、My Systems内でAXIS Camera Station Pro Server Monitoringを管理できます。

オペレーター

オペレーターは、ライブビデオフィードの監視と装置の制御を実行でき、再生のために録画にアクセスできます。組織のユーザーと各ロールの概要を閲覧できます。またオペレーターは、My Systems内でAXIS Camera Station Pro Server Monitoringを管理できます。

閲覧者

閲覧者はライブビデオフィードを監視できますが、装置を制御する権限、および録画へアクセスする権限はありません。組織のユーザーと各ロールの概要を閲覧できます。

ACS Pro Secure Remote Access

このロールは、Windows clientおよびモバイルアプリケーションを使用してリモートでAXIS Camera Station Proサーバーにアクセスする必要があるが、My Systemsポータルからブラウザアクセスを許可しないユーザーを対象としています。

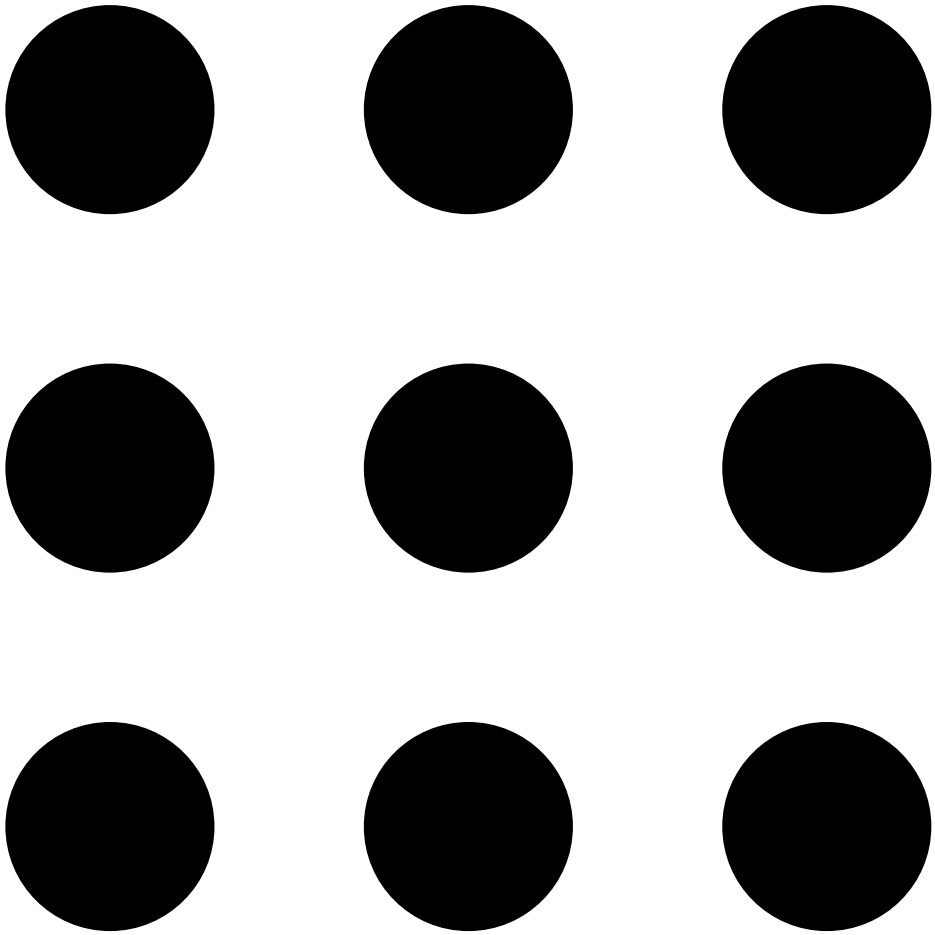
注

閲覧者、オペレーター、管理者はサーバー一覧を表示し、クリックしてサーバーにアクセスすることができます。「セキュアリモートアクセス」ロールを持つユーザーは、このリストにまったくアクセスできず、「権限不足」のページが表示されます。

ユーザー権限の昇格

1. ユーザー設定を行う組織を選択します。

2. アプリセレクター



に移動します。

3. [Users (ユーザー)] を選択します。
4. 昇格させるユーザーをクリックし、[Roles and access (役割とアクセス)] をクリックします。
5. 設定アシスタントの画面に表示される手順に従います。

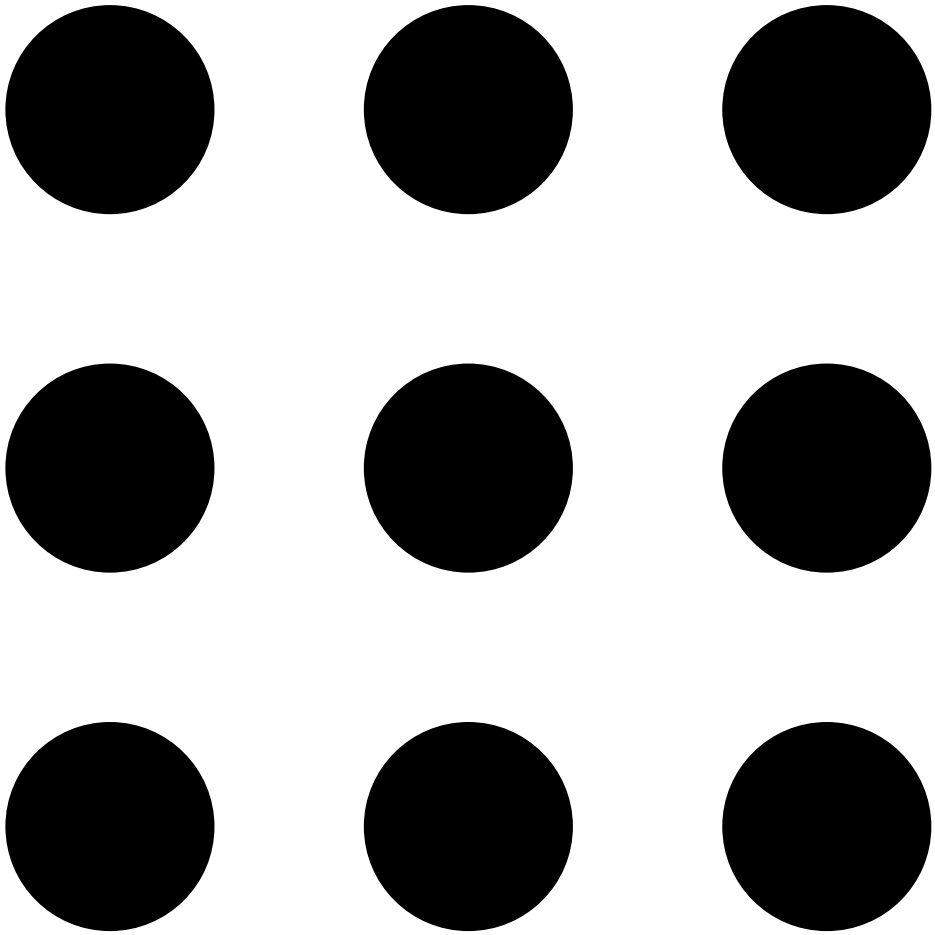
注

選択すると、すぐに役割が変更されます。セキュリティ上の理由から、招待は閲覧者の役割に限定されます。

ユーザーの削除

1. ユーザー設定を行う組織を選択します。

2. アプリセレクター



に移動します。

3. **[Users (ユーザー)]** を選択します。
4. 削除するユーザーにマウスポインターを合わせて、新しいオプションメニューの**...**を表示します。
5. **...**をクリックし、ドロップダウンメニューから [**Remove user (ユーザーの削除)**] を選択します。

複数のユーザーの削除

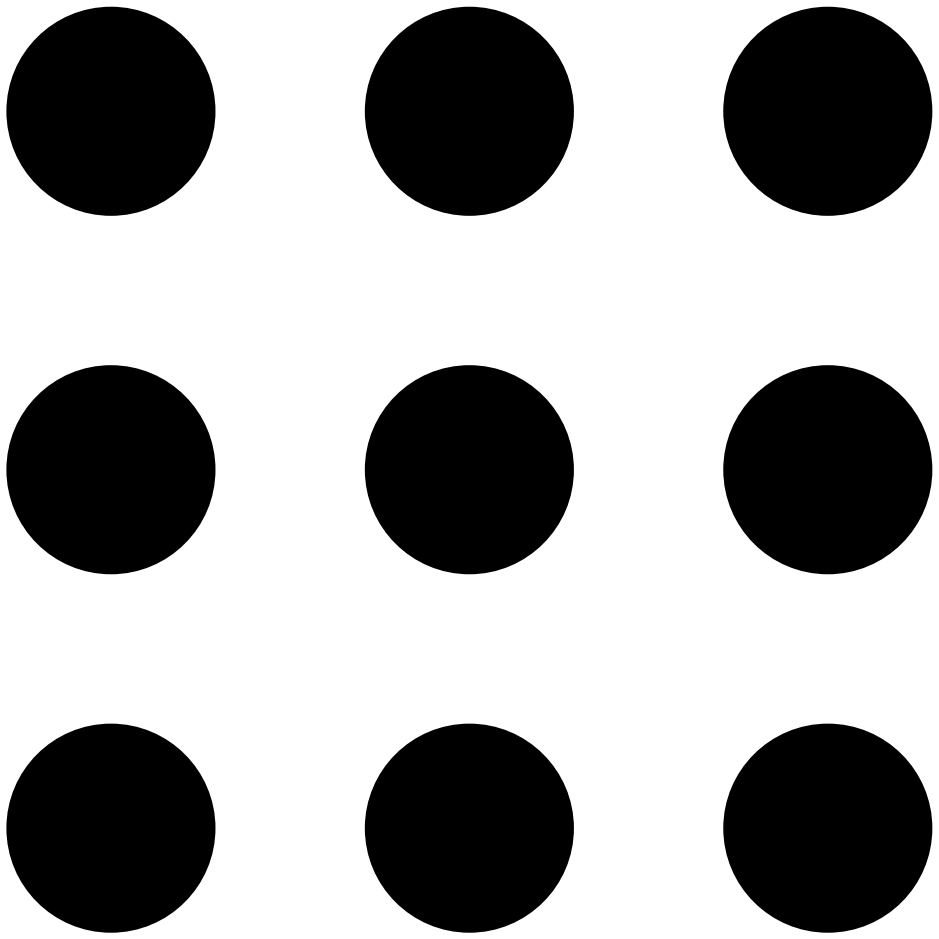
1. 削除するユーザーを選択します。
2. アクションメニューのゴミ箱をクリックします。
3. **[削除]** をクリックします。

アクセス管理

アクセスの付与

特定のフォルダーへのアクセスを付与する:

1. ユーザー設定を行う組織を選択します。
2. アプリセレクター



に移動します。

3. [Users (ユーザー)] を選択します。
4. アクセス権を付与するユーザーを選択し、[Roles and access (役割とアクセス)] をクリックします。
5. ユーザーのロールを選択します。ロールはフォルダー内の権限に影響します。詳しくは、*ユーザーロールについて, on page 9*を参照してください。
6. ユーザーにアクセス権を付与したいサイト、またはそのサイト内の特定のフォルダを選択します。管理者は、組織全体およびそのシステムへのアクセス権を自動的に付与されます。
7. [Save (保存)] をクリックします。

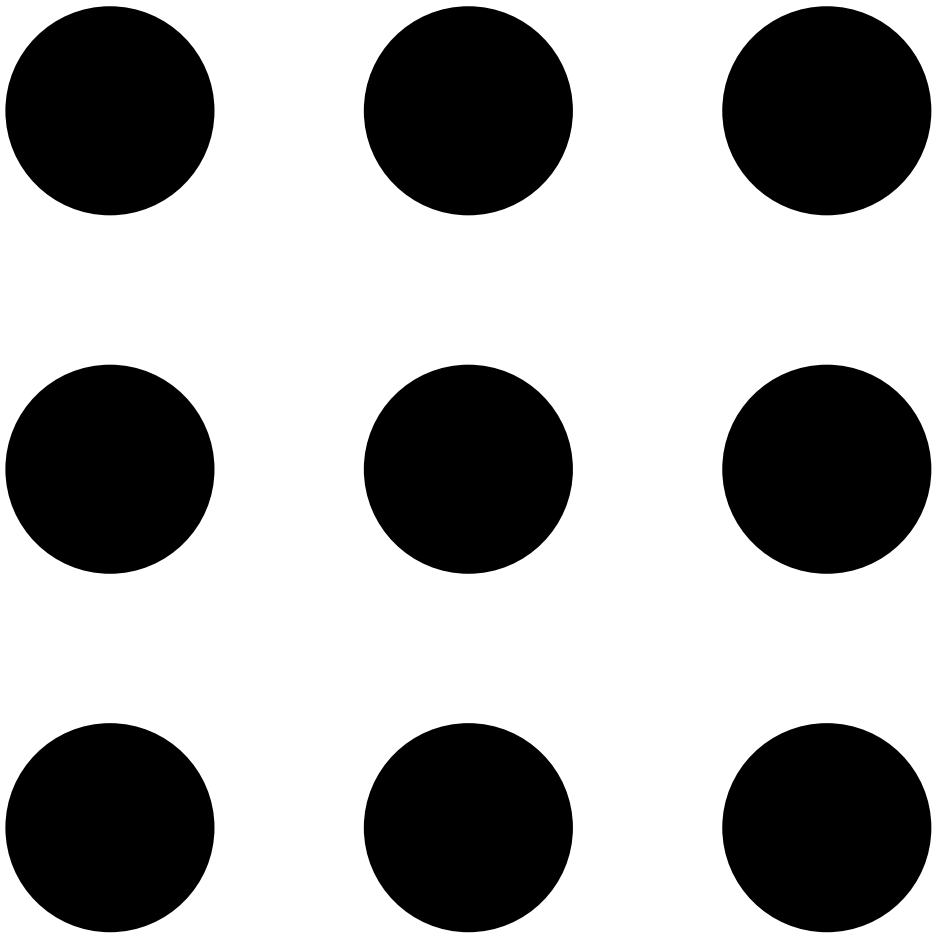
デバイスの管理

フォルダーを作成する

組織全体でデバイスへのアクセスを管理するには、デバイスを異なるフォルダーに配置します。フォルダーは、建物内の特定の部屋を含む地理的な場所や、組織内の特定の役割に関連付けられたデバイスに基づいて分けることができます。

フォルダーを作成するには:

1. アプリセレクター

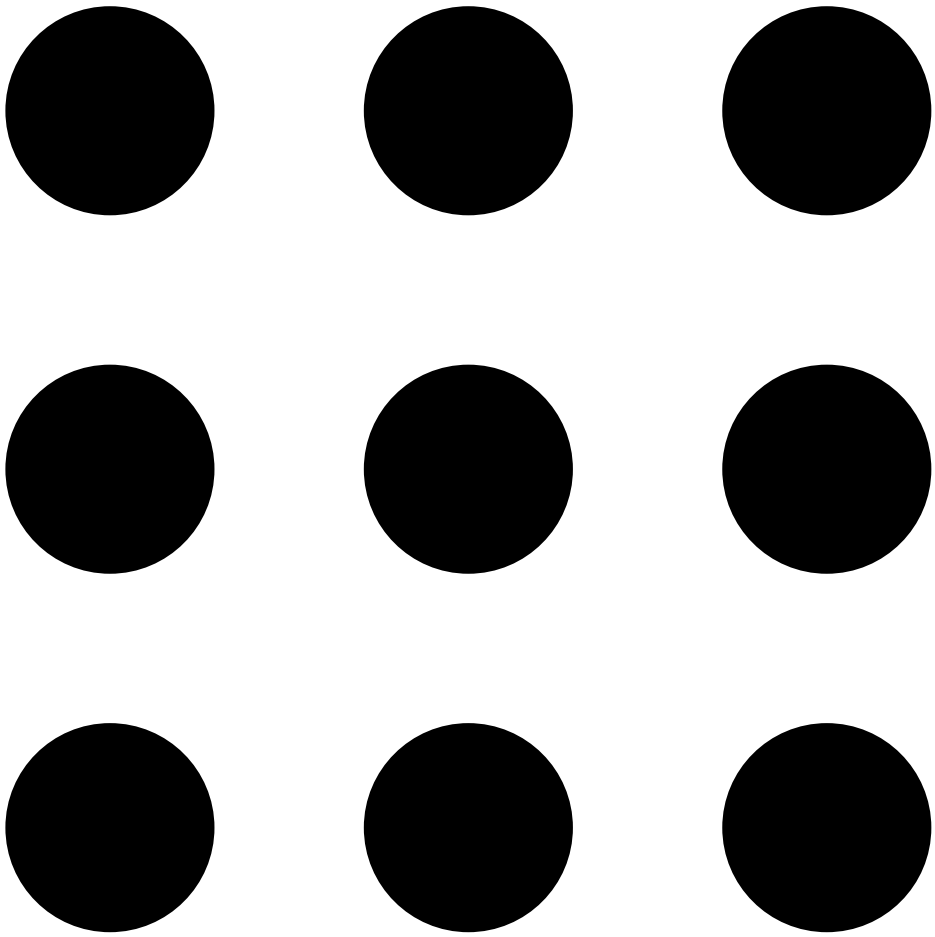


に移動します。
2. AXIS Device Managerを選択します。
3. [Devices (デバイス)] に移動します。
4. 一番上のフォルダーにカーソルを合わせ、...をクリックしてドロップダウンメニューを開きます。
5. [Create (作成)] を選択します。
6. フォルダーの名前を入力し、[Create (作成)] をクリックします。

フォルダーの削除

フォルダーを削除するには:

1. アプリセレクター



に移動します。
2. AXIS Device Managerを選択します。
3. [Devices (デバイス)] に移動します。
4. フォルダーにカーソルを合わせ、...をクリックしてドロップダウンメニューを開きます。
5. [削除] を選択します。
6. リスクを理解したことを確認するボックスにチェックを入れ、[Delete (削除)] をクリックします。

注

サブフォルダやデバイスを含むフォルダを削除するには、まずデバイスを削除し、サブフォルダを削除する必要があります。削除したいフォルダーと同期しているオンプレミスのアプリケーション (ACS Proや装着式など) を一時的に切断することをお勧めします。そうでしないと、それらのアプリケーションがすぐに同期しようとするかもしれません (同期に関する情報は、各アプリケーションのユーザーマニュアルに記載されています)。これらの予防措置を講じない

と、システムが破損する恐れがあります。この操作が原因の問題は、現時点ではAxisのテクニカルサポートでのみ対応可能です。

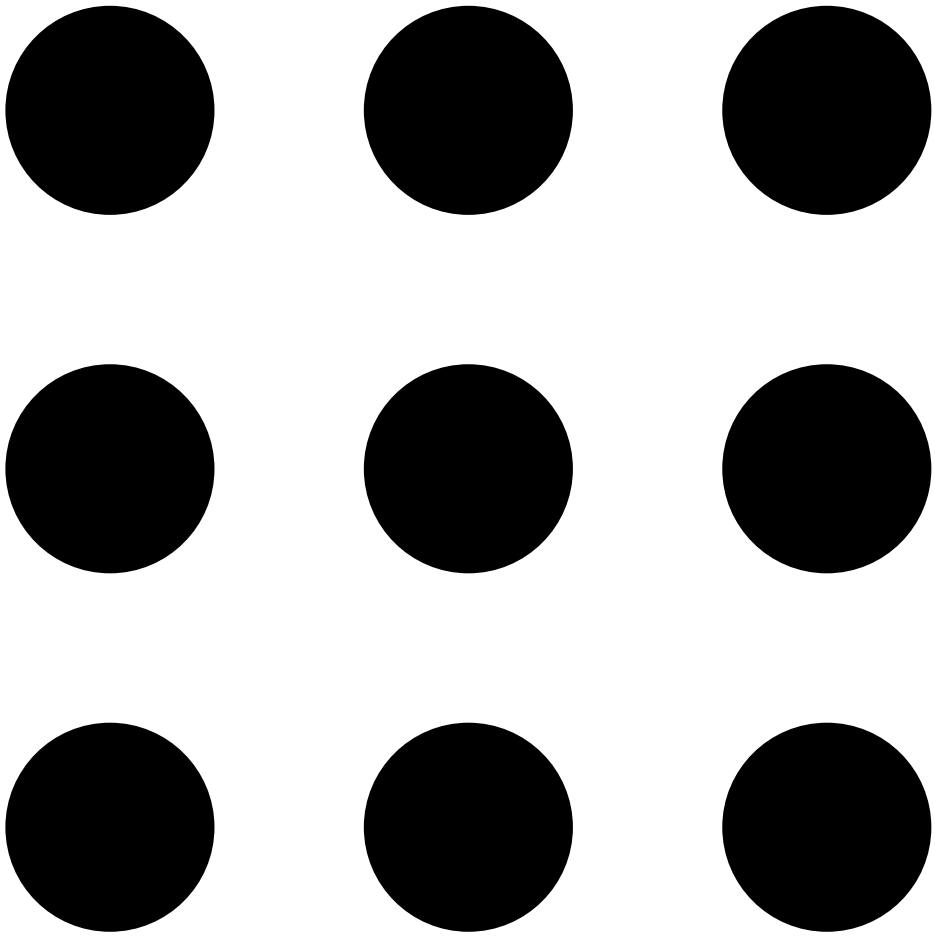
AXIS OSの管理

My SystemsのAXIS Device Managerを使用すると、各組織内の複数の装置のオペレーティングシステムを管理できます。

装置ソフトウェアのアップグレード

組織全体で装置のAXIS OSのバージョンをアップグレードする:

1. ユーザー設定を行う組織を選択します。
2. アプリセレクター

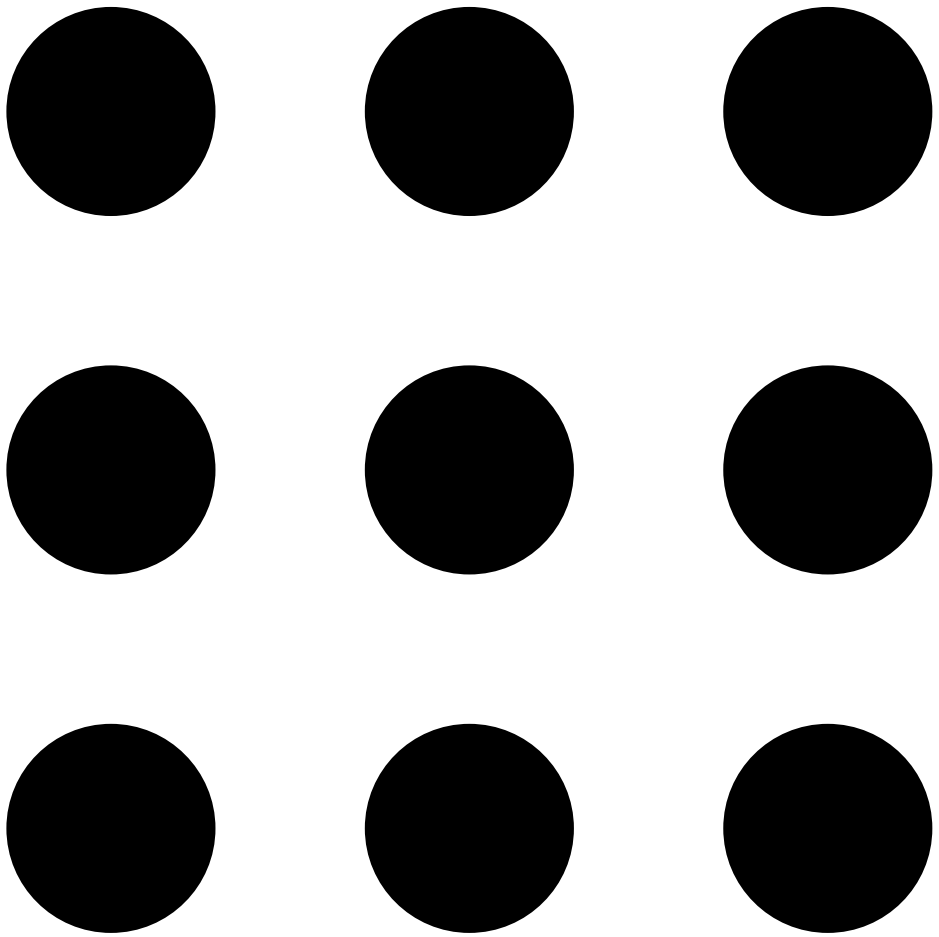


に移動します。
3. AXIS Device Managerを選択します。
4. [Devices (デバイス)] に移動します。
5. アップグレードが推奨されているモデルを選択します。
6. デバイスリストの上にあるアクションメニューの [Device software upgrade (デバイスソフトウェアアップグレード)] アイコンをクリックします。

7. [Upgrade (アップグレード)] をクリックします。

アップグレードのスケジュール

1. ユーザー設定を行う組織を選択します。
2. アプリセレクター



に移動します。

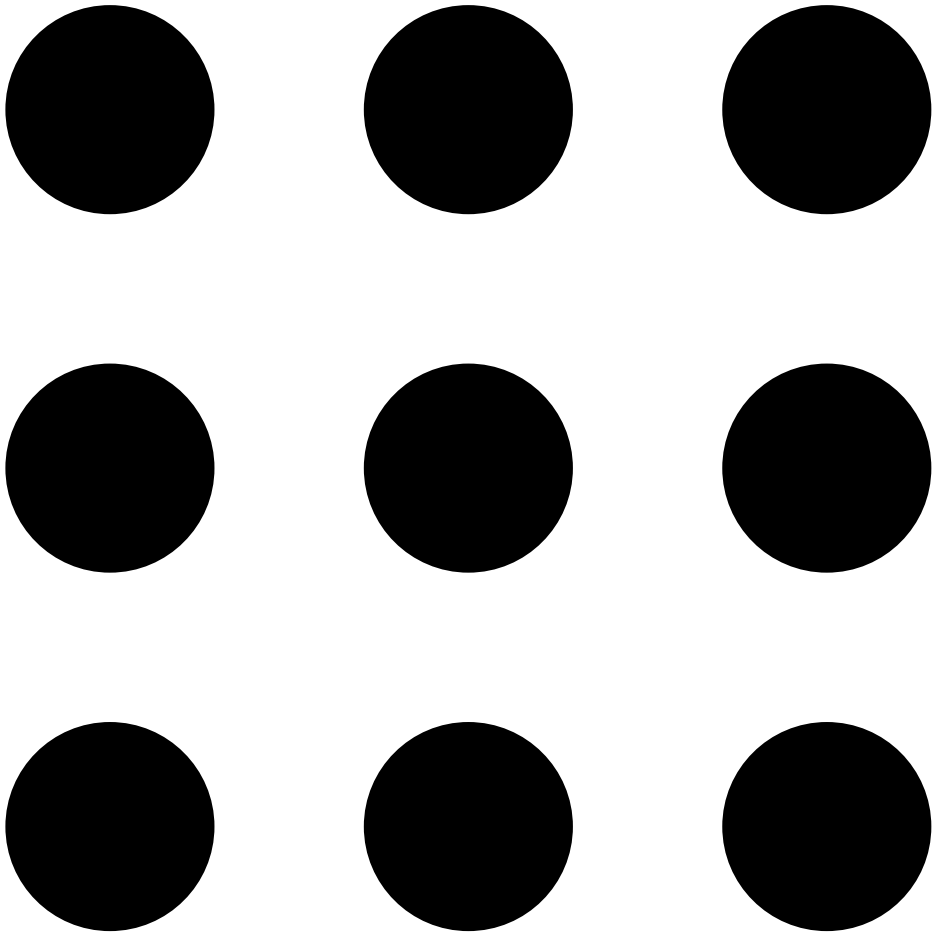
3. AXIS Device Managerを選択します。
4. [Devices (デバイス)] に移動します。
5. ソフトウェアアップグレードのスケジュールを設定するデバイスを選択します。
6. デバイスリストの上にあるアクションメニューの [Software scheduling (ソフトウェアスケジュール)] をクリックします。次の3つのオプションがあります。
   - デバイスを手動でアップグレードする場合は、[None (なし)] を選択します。
   - いつでも自動でアップグレードする場合は、[Upgrade as soon as a new software is available (新しいソフトウェアが利用可能になり次第アップグレード)] を選択します。
   - アップグレードの時間を設定したい場合は、[Set maintenance window (メンテナンスの時間を設定)] を選択します。

7. [適用] をクリックします。

AXIS OSアップグレードの表示

組織内で完了した進行中のAXIS OSアップグレードのリストを表示するには、次の手順に従います。

1. アプリセレクター



に移動します。

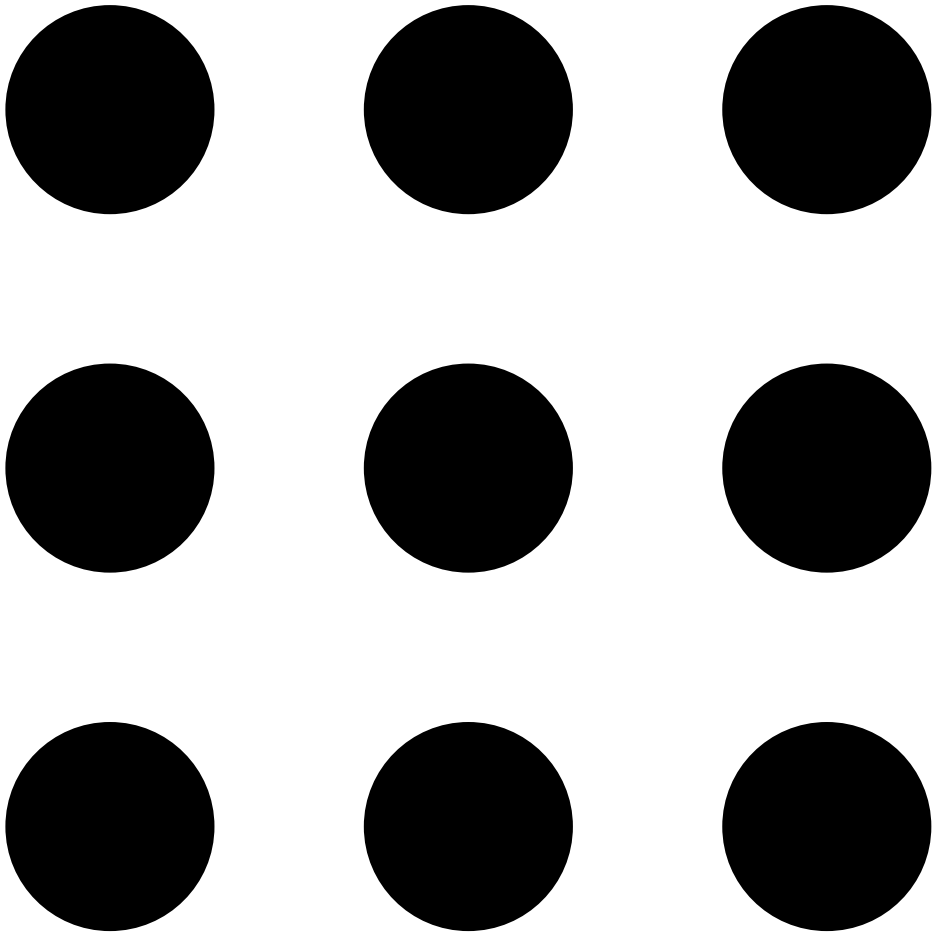
2. AXIS Device Managerを選択します。
3. [Tasks (タスク)] に移動します。

デバイスのインターフェースにリモートでアクセスする

デバイスリストのどのデバイスのインターフェースにもアクセスできます。クラウドデバイスインターフェースにより、対応デバイスでは統一されたユーザー体験が提供されます。クラウドのデバイスインターフェースにまだ反映されていない設定がある場合は、安全なリモート接続でデバイスに直接接続してそれらの設定にアクセスすることができます。これらのページのユーザー体験は、デバイスのAXIS OSのバージョンによって異なる場合があります。

デバイスのインターフェースにアクセスするには:

1. アプリセレクター



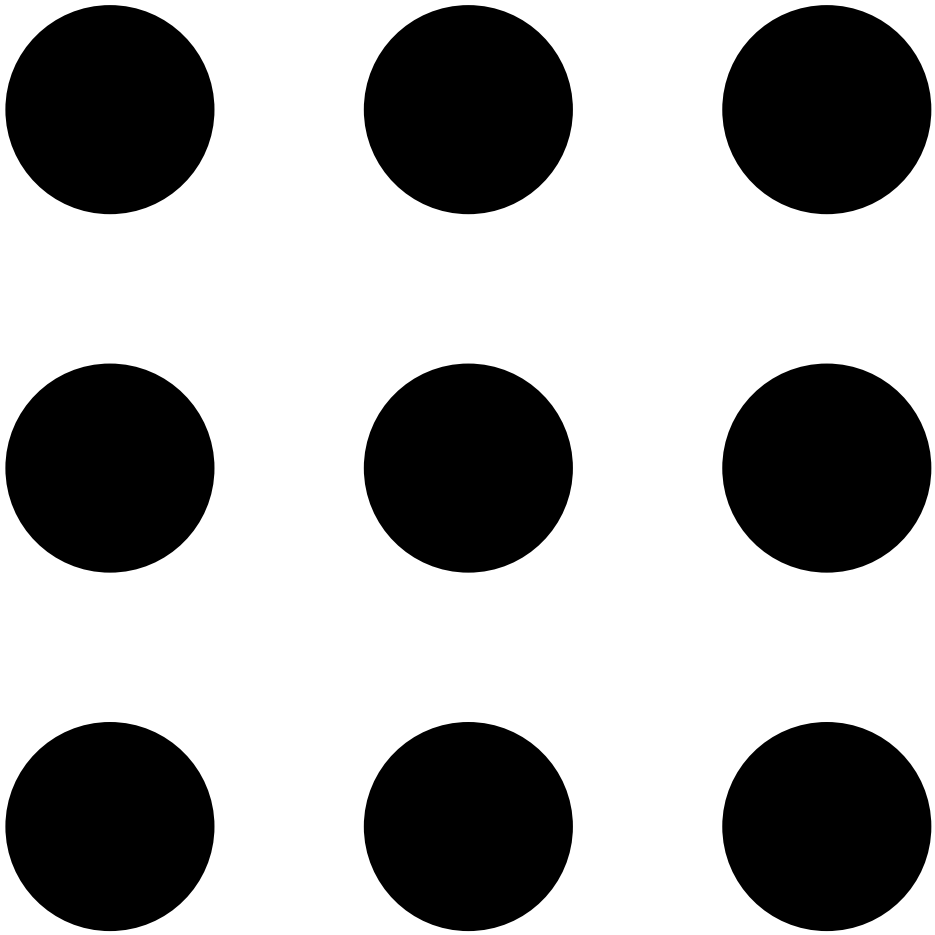
に移動します。
2. AXIS Device Managerを選択します。
3. [Devices (デバイス)] に移動します。
4. アクセスするデバイスのIPアドレスをクリックします。

デバイスの移動

組織内の別のサイトにデバイスを移動することができます。

デバイスを移動するには:

- アプリセレクター



に移動します。
- AXIS Device Managerを選択します。
- [Devices (デバイス)] に移動します。
- デバイスにカーソルを合わせ、**[...]** をクリックしてドロップダウンメニューを開きます。
- **[Move device (デバイスの移動)]** を選択します。
- デバイスを移動するフォルダーを選択します。
- **[Move (移動)]** をクリックします。

デバイスの登録

保証やサポートにアクセスするために、デバイスを組織に登録します。登録が完了すると、デバイスはAxisのクラウドサービスにも接続できるようになります。デバイスを登録するには、そのシリアル番号と所有者認証キー (OAK) が必要です。これらは、デバイスに同梱されているドキュメントに記載されています。また、デバイスのwebインターフェースからOAKを確認することもできます。

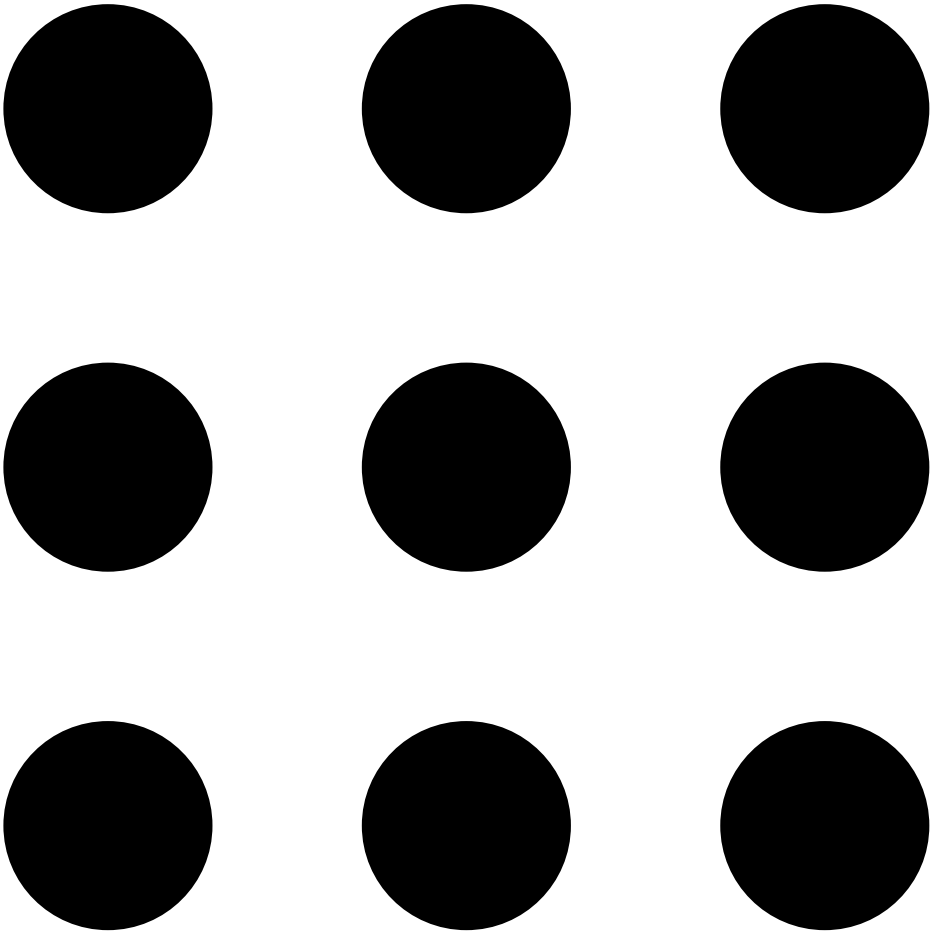
注

AXIS Camera Station Edgeの制限事項

[My Systems] に登録したデバイスは、AXIS Camera Station Edgeクライアントには表示されません。デバイスの追加や管理を行うには、AXIS Camera Station Edgeのドキュメントに記載されている設定手順をしたがいます。

デバイスを登録するには:

1. アプリセレクター



に移動します。
2. AXIS Device Managerを選択します。
3. **[Add (追加)]** を選択します。
4. シリアル番号を入力します。
5. デバイスにわかりやすい名前を付けます。
6. 所有者認証キーを入力します。
7. **[Next (次へ)]** をクリックします。
8. デバイスのロケーションの選択
9. **[Next (次へ)]** をクリックします。
10. [**+ Add device (装置を追加)**] をクリックします。

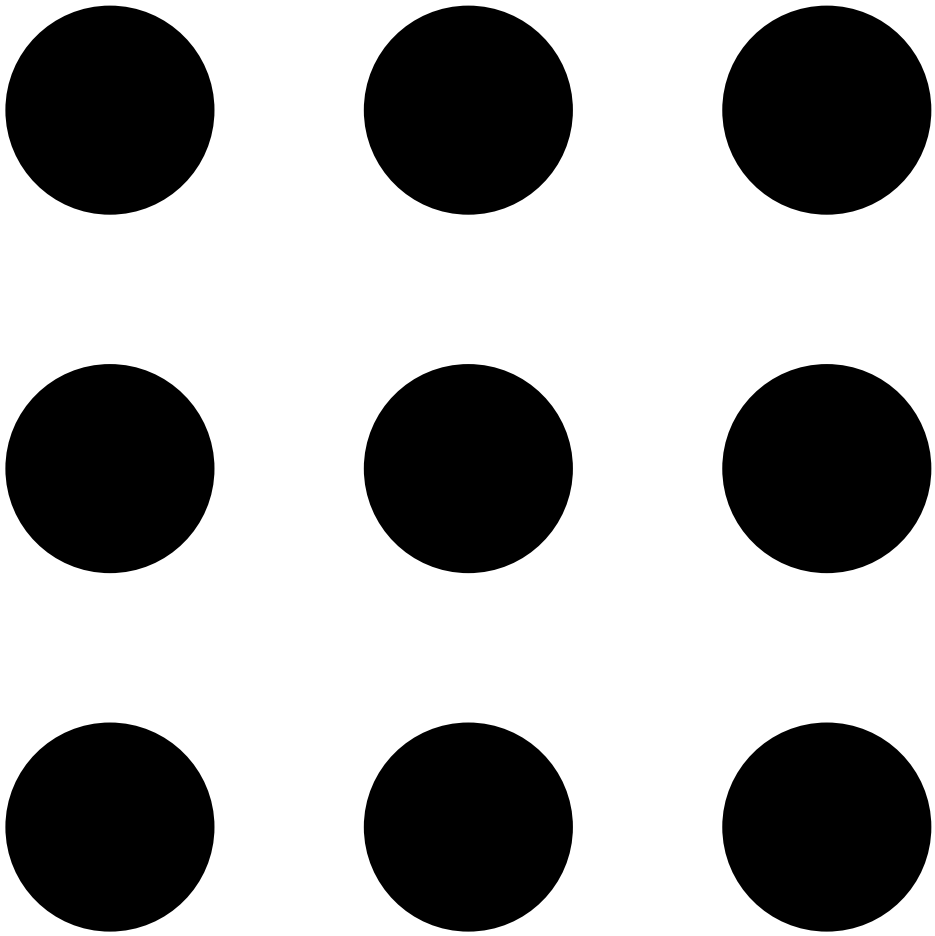
AXIS InstallerまたはデバイスのコントロールボタンをUse使用して、ワンクリックでデバイスをクラウドに接続することができます。

装置を削除する

デバイスは組織から1台ずつ削除できます。

以下の手順に従って、特定のデバイスを組織から削除します。

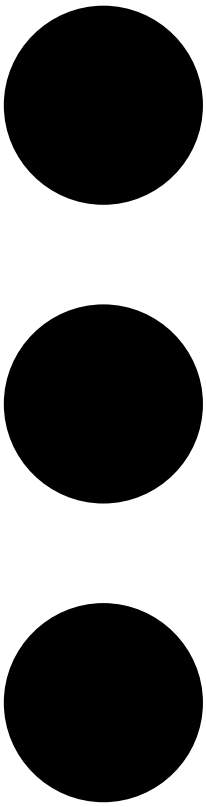
1. アプリセレクター



に移動します。
2. AXIS Device Managerを選択します。
3. [Devices (デバイス)] に移動します。
4. デバイスにカーソルを合わせ、**[...]** をクリックしてドロップダウンメニューを開きます。
5. **[Remove device from organization (組織からデバイスを削除)]** を選択します。
6. 情報をよく読み、**[I have read and understood (内容を読み、理解しました)]** のチェックボックスにチェックを入れます。
7. **[削除]** をクリックします。

複数のデバイスを削除する:

1. 削除するデバイスを選択します。
2. アクションメニューの



をクリックします。
3. **[Remove devices (デバイスの削除)]** を選択します。
4. 情報をよく読み、**[I have read and understood (内容を読み、理解しました)]** のチェックボックスにチェックを入れます。
5. **[削除]** をクリックします。

注

削除されたデバイスは、サイトから物理的に取り除かれていない限り、**[Discovered (検出済み)]** で確認できます。そのデバイスを再び追加する場合は、新規のデバイスとして組織に接続する必要があります。

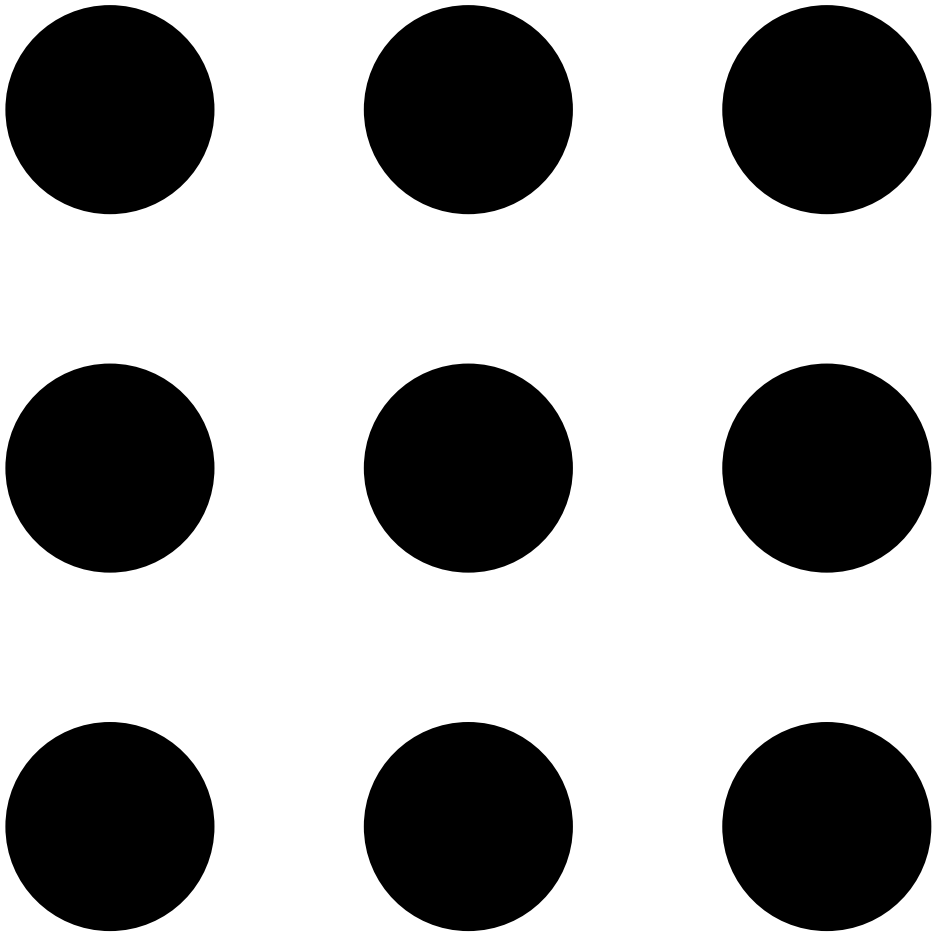
サーバーのアップグレード

AXIS Camera Station Proサーバーの最新バージョンへのリモートアップグレードをトリガーできます。ただし、実行には組織の管理者である必要があります。

AXIS Camera Station Proサーバーをアップグレードするには:

1. サーバーをアップグレードする組織を選択します。

2. アプリセレクター



に移動します。

3. AXIS Device Managerを選択します。
4. ACS Pro Serversに移動します。
5. アップグレードが推奨されているサーバーを選択します。
6. [...] をクリックし、[Upgrade server (サーバーのアップグレード)] を選択します。
7. [Upgrade (アップグレード)] をクリックします。

注

AXIS Camera Station Pro Serverのアップグレードには時間がかかり、一度開始すると中断することはできません。Upgrade (アップグレード) ボタンをクリックすると、サーバーが定期的にチェックするキューにこのリクエストが追加されます。

その後、サーバーは新バージョンをダウンロードし、自動的に設置を開始しますが、その間、サーバーは利用できなくなります。

ライセンスを管理

ライセンスについて

My Systemsは、Axisの製品とサービスのサブスクリプションライセンスを一元的に管理するのに役立ちます。試用版、試用期間、猶予期間、ライセンスステータスなど、組織のサブスクリプションに関連するすべての情報の概要を確認できます。

次の3種類のライセンスを管理できます。

- **サブスクリプションライセンス**: 一定の期間有効
- **ハードウェアに関連付けられたライセンス**: ハードウェアの耐用期間にわたって有効
- **アップグレードライセンス**: 既存のライセンスの1回限りのアップグレードに有効

ライセンスの種類と製品のライセンスを取得する方法の詳細については、ライセンスガイドをご覧ください。

ソフトウェア製品のライセンスを開始する前に、ソフトウェア製品を組織に登録する必要があります。

使用に当たって

製品をライセンスするには、まずサプライヤーからライセンスキーを購入する必要があります。

1. まず、サプライヤーからライセンスキーを購入する必要があります: *ライセンスの購入, on page 24*
2. ソリューションに応じて、次の手順を選択します。
   - オフラインシステムの場合: *オフラインシステムをライセンスする, on page 24*
   - サブスクリプション製品の場合: *サブスクリプションの開始, on page 25*
   - ハードウェアに紐付けされた製品の場合: *ハードウェアに紐付けされたライセンスを登録する, on page 27*

ライセンスの購入

まだライセンスをお持ちではない場合は、システムインテグレーターまたは販売代理店にお問い合わせください。適切なシステムインテグレーターまたは販売代理店を見つけるには、[**Product list (製品リスト)**] に移動し、[*Where to buy licenses (ライセンスの購入先)*] リンクをクリックすると、お客様の場所に基づいて世界中のシステムインテグレーターまたは販売代理店の情報が表示されます。

オフラインシステムをライセンスする

オフラインシステムをライセンスするには、システム説明ファイルをMy Systemsにアップロードする必要があります。

1. 登録するソフトウェアでシステムファイルを作成します。
2. オンラインデバイスで、*My Systemsのライセンス (Webアプリケーション)* に移動します。
3. 上部のバーの組織ドロップダウンメニューで管理する組織を選択します。
4. [PRODUCT LIST (製品リスト)] で製品を選択します。
5. [System setup (システム設定)] に移動します。
6. [Upload system file (システムファイルをアップロード)] をクリックします。
7. 画面の指示に従います。

システムファイルのアップロードが完了し、システムが完全にライセンス認証された後、以下の手順に従って、ライセンスファイルをオフラインシステムにインストールする必要があります。

1. [System setup (システム設定)] に移動します。
2. リストでシステムを選択します。
3. [Download license file (ライセンスファイルのダウンロード)] をクリックします。
4. ライセンスファイルをオフラインシステムのソフトウェアにインポートします。

将来使用するためのライセンスの保存

ライセンスの追加プロセスを容易にするために、現在使用しているライセンスよりも多くのライセンスを購入できます。即座に割り当てられないライセンスはWallet (ウォレット) に保存され、次回のサブスクリプションの更新時に使用できます。ライセンスは最大5年間保存できます。[Product wallet (製品ウォレット)] に移動し、製品のストレージに保存されているライセンスの数を確認します。

アクティビティの履歴を確認する

組織の過去のアクティビティを確認するには、[History (履歴)] に移動します。ここでは、組織内の誰がライセンスを割り当てたか、またはライセンスキーを引き換えたか、また、それがいつ行われたかを確認できます。

ライセンスの移転

未使用のライセンスをある組織から別の組織に移転するには、両組織の管理者権限を持っている必要があります。未使用のライセンスは、[Product wallet (製品ウォレット)] でのみ移転できます。

ライセンスを移転するには:

1. ライセンスを割り当てる製品を選択します。
2. [Product wallet (製品ウォレット)] に移動します。
3. [Transfer licenses (ライセンスの移転)] をクリックします。

製品ごとに利用可能なライセンス数が表示されています。

4. 移転するライセンスの数を入力します。
5. [Next (次へ)] をクリックします。
6. ライセンスを移転する組織を選択します。
7. [Next (次へ)] をクリックします。
8. 移転するライセンスの概要を確認します。
9. [確認] をクリックします。

注

ライセンスを移転する組織が関連製品をアクティベートしていない場合、ライセンスは利用できなくなります。それでもライセンスをその組織に転送することはできますが、その製品の試用またはサブスクリプションを開始した場合にのみ、そのライセンスが製品ウォレットに入ります。

サブスクリプションの開始

製品のライセンスを取得するための最初のステップは、サブスクリプションを開始することです。サブスクリプションを開始すると、ライセンスの購入、ライセンスキーの引き換え、ライセンスの割り当てのための30日間の猶予期間が与えられ、ソフトウェアを継続して使用することができます。

1. *My SystemsのLicense Manager*に移動します。
2. トップバーのメニューで、管理する組織を選択します。

重要

現在、組織間でライセンスを移行する方法はないため、正しい組織を選択したことを確認してください。

3. サブスクリプションを開始する製品を選択します。
4. [Product overview (製品の概要)] で、[Start your subscription (サブスクリプションの開始)] をクリックします。
5. 画面の指示に従います。

[Product overview (製品の概要)] で、[License status(ライセンスステータス)] に [Subscription has started (サブスクリプションを開始しました)] と表示されます。猶予期間の終了も表示されます。

ライセンスキーの引き換え

ライセンスキーには、1つの製品に対して購入した数のライセンスが含まれています。AXIS License Managerでライセンスキーを引き換えると、含まれるすべてのライセンスがProduct wallet (製品ウォレット)に追加され、後で割り当てることができます。

重要

現在、組織間でライセンスを移管する方法はないため、組織が正しいことを確認してください。

1. ライセンスを引き換える製品を選択します。
2. [Product wallet (製品ウォレット)] に移動します。
3. ライセンスキーを入力または貼り付けます。
4. [Redeem license key (ライセンスキーの引き換え)] をクリックします。

サブスクリプションライセンスを割り当てる

ライセンスを取得するには、製品ウォレットから現在のサブスクリプション年にライセンスを割り当てる必要があります。割り当てられたライセンス数が現在のニーズと一致すると、ライセンスが完全に付与されています。将来のサブスクリプション期間に備えて製品のライセンスを取得するには、現在のニーズに応じて追加のライセンスを割り当てます。

1. ライセンスを割り当てる製品を選択します。
2. [Product licensing (製品のライセンス)] に移動します。
3. [Allocate subscription licenses (サブスクリプションライセンスの割り当て)] で、[Current need (現在のニーズ)] に表示されているライセンス数を追加します。
4. [Confirm allocation (割り当てを確認)] をクリックします。このオプションが利用できない場合、現在のニーズに見合うだけのライセンスが製品ウォレットにありません。
5. [Confirm (確認)] をクリックして、指定された契約期間のライセンスの割り当てを確認します。

これで製品がライセンスされました。

猶予期間後または新しい製品の日付にサブスクリプションライセンスを割り当てても、組織のサブスクリプション期間の日付は変更されません。代わりに、それらのライセンスが重複している時間に対して補償が行われます。重なった時間に合わせて、新しいライセンスが自動的にウォレットに戻されます。

サブスクリプションを更新する

サブスクリプションが更新日に達すると、新しい猶予期間が与えられます。その後、30日以内にウォレットから新しいサブスクリプション年にライセンスを割り当てることができます。最大5年前までにサブスクリプションを事前に更新することもできます。

1. サブスクリプションを更新する製品を選択します。

2. [Product licensing (製品のライセンス)] に移動します。
3. [Allocate licenses (ライセンスの割り当て)] で、[Current need (現在のニーズ)] に表示されているライセンス数を追加します。

これで、次のサブスクリプション年度にライセンスを割り当てることができるようになります。

4. [Confirm allocation (割り当てを確認)] をクリックします。
5. [Confirm (確認)] をクリックして、指定された契約期間のライセンスの割り当てを確認します。

これで製品がライセンスされました。

サブスクリプション中に装置を追加する

サブスクリプション期間中は、ライセンスをサブスクリプションにすぐに追加する必要がなく、自由に装置を追加できます。必要なライセンス数は、次の更新期間にリストされている現在必要なライセンス数に追加されます。

注

組織の年間増加許容率は、割り当てられたライセンス数の100%です。サブスクリプション年度に100%を超えて増加した場合は、追加のライセンスの割り当てが必要になります。Axisは不正使用を監視し、該当するお客様に通知します。

サブスクリプションの終了

ソフトウェアのサブスクリプションを解約するには、以下の手順を実行する必要があります。

1. My Software (マイソフトウェア) ページに移動します。
2. リストから、サブスクリプションを解約したいソフトウェアに移動します。
3. ...をクリックし、ドロップダウンメニューから [End subscription (サブスクリプションの終了)] を選択します。
4. サブスクリプションが終了するとどうなるかを確認し、サブスクリプションを終了することによる影響を十分に理解しているか確認してください。
5. [確認] をクリックします。

サブスクリプションは常に、その組織の次回の更新日に終了します。解約を取り消す場合は、その更新日前にサブスクリプションを再開することができます。

ハードウェアに紐付けされたライセンスを登録する

ハードウェアに紐付けされたライセンスがプリロードされたハードウェアを購入した場合、ハードウェアを組織に登録すると、ライセンスが自動的にアクティブになります。

ハードウェアにプリロードされているライセンスよりも多くのライセンスが必要な場合は、拡張ライセンスを購入する必要があります。

重要

現在、組織間でライセンスを移行する方法はないため、正しい組織を選択したことを確認してください。

拡張ライセンスキーを引き換える

拡張ライセンスキーには、1つの製品に対して購入した数のタイプ別のライセンスが含まれています。AXIS License Managerでライセンスキーを引き換えると、含まれるすべてのライセンスがProduct wallet (製品ウォレット)に追加され、後で割り当てることができます。

重要

組織が正しいかどうかを確認します。

1. 拡張ライセンスを引き換える製品を選択します。

2. [Product wallet (製品ウォレット)] に移動します。
3. ライセンスキーを入力または貼り付けます。
4. [Redeem license key (ライセンスキーの引き換え)] をクリックします。

拡張ライセンスを割り当てる

ライセンスを取得するには、製品ウォレットから特定のハードウェアにライセンスを割り当てる必要があります。

1. ライセンスを割り当てる製品を選択します。
2. [System setup (システム設定)] に移動します。
3. 拡張ライセンスが必要なシステムをクリックします。
4. [Allocate licenses (ライセンスの割り当て)] をクリックします。
5. 画面の指示に従います。

これで製品がライセンスされました。

アーカイブシステム

サーバーが故障した場合、またはサーバーを誤った組織に接続してしまった場合には、新しいサーバーをインストールするためや、正しい組織にサーバーを追加するために、サーバーをアーカイブできます。

サブスクリプション付きのシステムをアーカイブする場合、アーカイブされたシステムは接続済みシステムのリストから削除され、そのシステムが組織に貢献していた使用も削除されます。

ハードウェアに紐付けられたシステムをアーカイブする場合、拡張ライセンスまたはcore-to-universalライセンスが割り当てられてから1年未満の場合は、それらのライセンスはウォレットに戻されます。

AXIS Camera Station Proシステムのアーカイブ:

1. オンラインデバイスで、*My Systemsのライセンス (Webアプリケーション)* に移動します。
2. 上部のバーの組織ドロップダウンメニューで管理する組織を選択します。
3. [PRODUCT LIST (製品リスト)] で製品を選択します。
4. [System setup (システム設定)] に移動します。
5. アーカイブするシステムをリストから選択します。
6. **[...]** をクリックします。
7. **[Archive (アーカイブ)]** を選択します。
8. システムをアーカイブする理由を選択します。
9. Archive と入力して操作を確定します。このアクションは元に戻せないことにご注意ください。
10. [**確認**] をクリックします。

組織を管理する

組織について

組織は、Axisクラウドサービス内のすべてのデバイス、ユーザー、およびサイトを仮想的に表したものです。アクセスを規制し、最大限のセキュリティを促進する階層構造内ですべてのデバイスとユーザーアカウントをホストします。この階層構造により、小規模から大規模の企業まで、あらゆる規模の組織において、柔軟なユーザーおよびデバイス管理が可能になります。

組織を作成するには、My Axisアカウントが必要です。My Axisアカウントは*axis.com/my-axis/login*で登録できます。

新しい組織を作成すると、その組織の所有者になります。組織はシステムをAxisクラウドサービスのユーザーに接続します。組織所有者は以下のことができます。

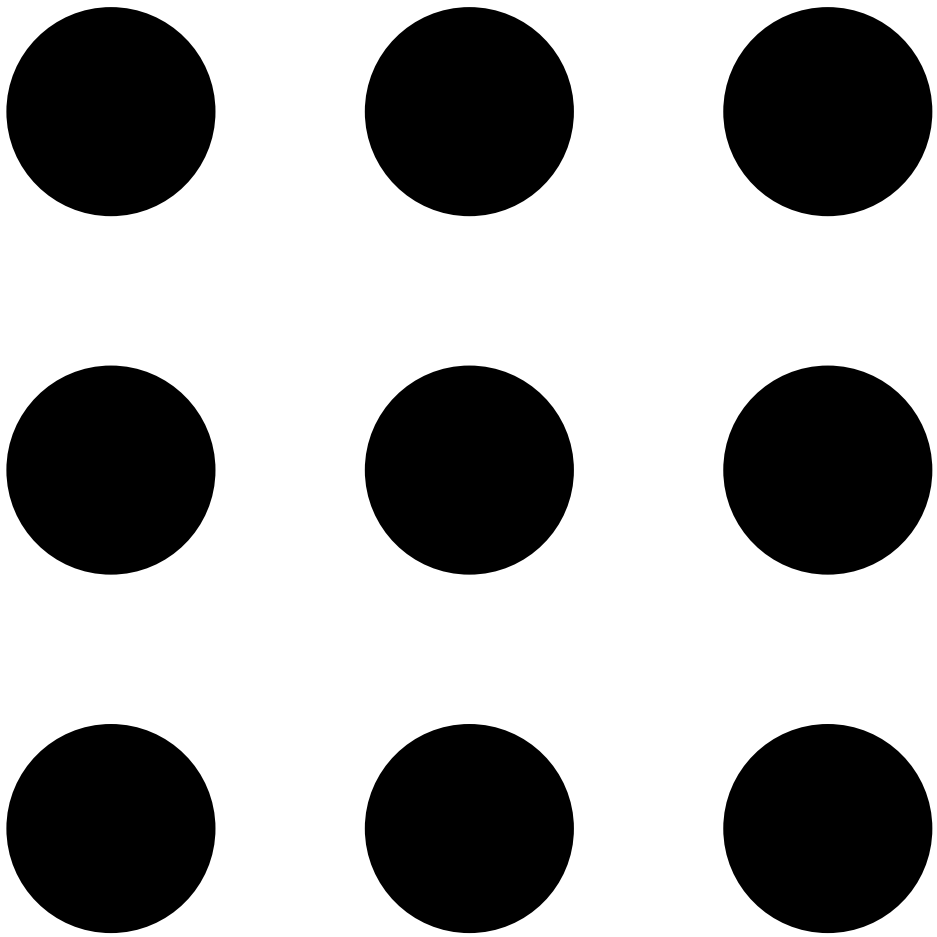
- ユーザーを組織に招待する。*ユーザーを組織に追加する*を参照してください。
- ユーザーにそれぞれのロールを割り当てる。
- ニーズに合わせてニーズに合った組織構造を構築する。組織はフォルダーやサブフォルダーに構造化できます。通常、フォルダーは組織内のシステムの物理的なサイトまたは位置を表します。
- 組織内のシステムのライセンスを管理する。

組織名を変更する

組織名を変更するには:

1. 名前を変更する組織を選択します。

2. アプリセレクター



に移動します。

3. [Org. settings (組織設定)] を選択します
4. [Information (情報)] で [Edit (編集)] をクリックします。
5. 新しい組織名を入力します。
6. [Notes (備考)] で、組織の説明を入力します。
7. [Save (保存)] をクリックします。

所有者

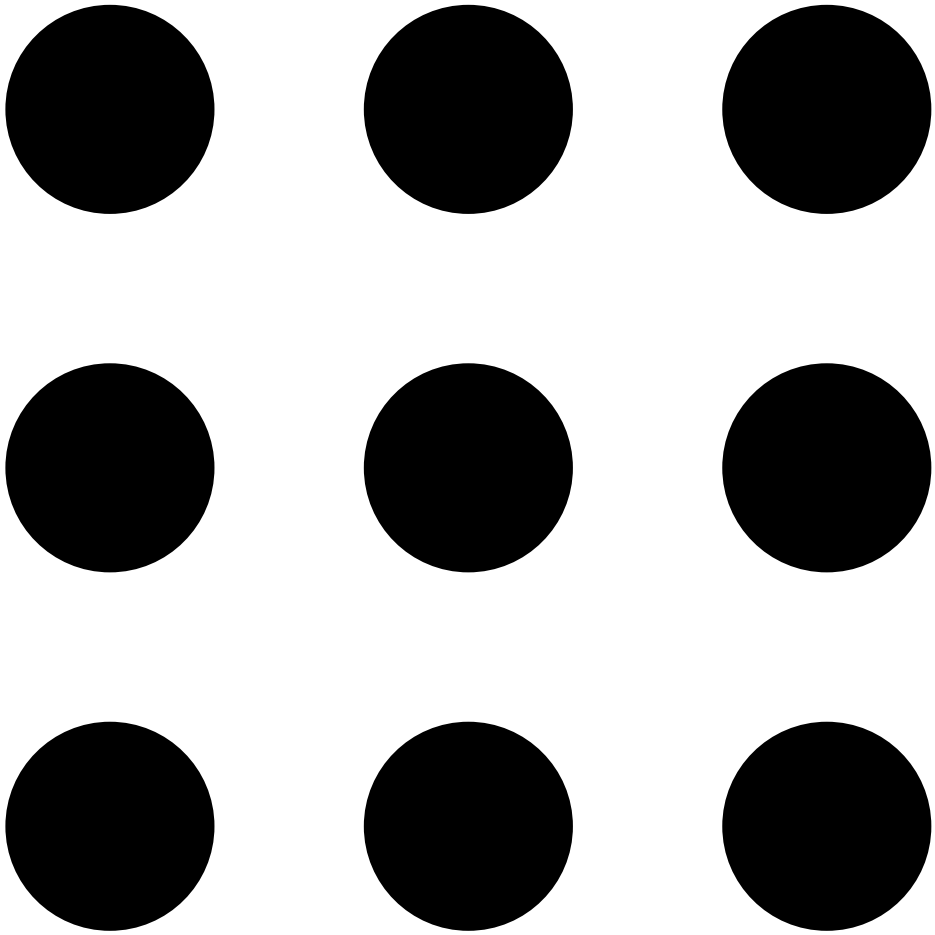
組織を作成すると、組織の所有権が自動的に付与されます。所有者は、組織、そのユーザー、アプリケーション、装置に対するフルアクセス権を持つことになります。所有権を譲渡するには、ユーザーをその役割に昇格させる必要があります。組織には少なくとも1人の所有者が必要です。

組織をアーカイブする

組織が不要になった場合は、記録保持のために組織をアーカイブすることができます。組織をアーカイブする前に、装置を削除することをお勧めします。この組織に関連付けられているアクティブなサブスクリプションライセンスは使用できなくなり、払い戻しもできなくなります。

組織をアーカイブするには:

1. アプリセレクター



に移動します。

2. **[Org. settings (組織設定)]** を選択します
3. [Archive (アーカイブ)] に移動します。
4. 組織IDをコピーします。
5. [Archive organization (組織をアーカイブする)] をクリックします。
6. 組織IDを貼り付けます。
7. 組織のアーカイブに関連するリスクを理解したことを確認するボックスにチェックを入れます。
8. **アーカイブ** をクリックします。

⚠ 注意

現在、組織がアーカイブされた後に組織を取り出す方法はありません。したがって、アーカイブする前に組織IDを保存することをお勧めします。誤って組織をアーカイブした場合は、技術サポートに組織IDを提供する必要があります。

T10206591_ja

2026-09 (M31.3)

© 2024 – 2026 Axis Communications AB